

さきちゃんだより



発行 2010. 6 新庄河川事務所 立谷沢川砂防出張所

合同工事安全祈願祭

6月2日、南部山村広場で「立谷沢川流域工事安全対策協議会」主催の「合同工事安全祈願祭」が催され、発注者・受注者など30名の参加者が、今年度工事の「無事故・無災害」を祈願しました。

例年、雪融けを待って関係者一同による祈願祭が行われ、その後、工事現場が本格的に動き出します。今年度も大きな事故や災害が発生しないよう、十分に注意しながら取り組んで参ります。



《参加者》

発注者

東北電力株式会社 酒田技術センター
国土交通省 新庄河川事務所 立谷沢川砂防出張所

受注者

升川建設株式会社(立谷沢川流域本沢第二砂防堰堤改築工事)
株式会社柿崎工務所(立谷沢川流域濁沢第七砂防堰堤工事、立谷沢川流域濁沢第八砂防堰堤工事)
株式会社カキザキ(立谷沢川流域丑ノ沢砂防堰堤工事)
月の沢発電所土木設備撤去工事共同企業体(月の沢発電所廃止に伴う土木設備撤去工事)
山科建設株式会社(月の沢発電所廃止に伴う土木設備撤去工事)
佐藤建設株式会社(立谷沢川流域立谷沢地区管理用道路改良工事)

※これからの梅雨・台風シーズンの入山時等には十分な注意が必要です!!

みんなで防ごう土砂災害!

土砂災害防止月間(6/1→6/30)

土砂災害の 主な前兆現象



土石流

- ◎山鳴りがする
- ◎急に川の流が濁り流木が混ざっている
- ◎雨が降り続けているのに川の水位が下がる

地すべり

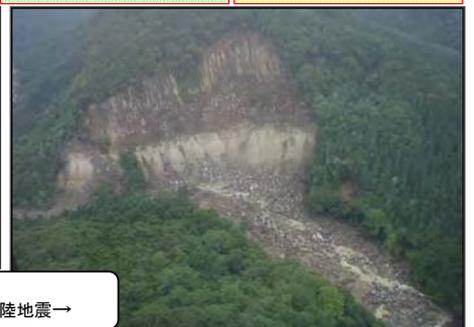
- ◎沢や井戸の水が濁る
- ◎地面にひび割れができる
- ◎斜面から水が噴き出す

崖崩れ

- ◎崖に割れ目が見える
- ◎崖から水が湧き出ている
- ◎崖から小石がばらばらと落ちてくる

6月は「土砂災害防止月間」です。皆さんがお住まいの周辺で、河川や斜面など、「何かおかしいな?」と感知することがあれば、お気軽に立谷沢川砂防出張所へご相談ください。

これから梅雨を迎え、雨量が増加する季節になりますので、災害を未然に防ぐためにも、流域住民の皆さんのより一層のご協力をお願いいたします。



←平成5年に発生した大崩壊(立谷沢川)
幅 約500m 長さ 約700m

↑
平成20年 岩手宮城内陸地震→

きれいな川を守ろう！～モモカミゴミバスターズの闘い～



6月3日、戸沢村高屋地内の最上川周辺で、清掃活動「モモカミゴミバスターズ」が今年度も実施されました。この活動は、今回で30回目という節目を迎え、地域住民や地元小学生(戸沢村の4年生たち)を中心に200名もの参加者が集いました。

午前10時から始まった清掃活動はおよそ1時間に及びました。また、この日は運良く(運悪く?)好天に恵まれたため、参加された皆さんは日差しの照りつける中、一生懸命、清掃活動に従事されていました。

集められたゴミは、なんとダンプトラック2台分! (※集合写真の背景)

「モモカミゴミバスターズ」は毎年行われています、しかしゴミは一向になくなりません。参加された方からは「なぜ、川にゴミを捨てるのだ?」と嘆きの声も聞こえてきます。モラルのない人間の後始末をモラルのある人間が行うというのも、世の中には間々あることですが、納得しがたいのもまた事実ですね。

立谷沢川流域でも清掃活動が毎年6月頃に行われており、毎回大量のゴミが拾われています。7月は「河川愛護月間」です、流域住民のみなさん、河川愛護活動へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



立谷沢川上流域も6月でようやく雪融けを迎え、工事現場がやっと動き出せる状態になろうとしています。5月中旬から行われていた、工事のための除雪作業にも一区切りついて、本格的に工事が始まります。

本格的に動き出すにあたって、地域住民の皆様にはご迷惑をお掛けすることになるかとは存じますが、砂防事業へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

立谷沢川砂防出張所一同

《立谷沢川砂防出張所／砂防資料館》

〒999-6601
東田川郡庄内町狩川字堅田20-23
TEL 0234-56-2050
FAX 0234-56-2081

<http://www.thr.mlit.go.jp/shinjou>

～砂防資料館～

開館日：※土日・祝日は閉館しております。
※ご利用の際は事前にご予約ください。
駐車場 小型バス3台駐車可

